HALF TIME

連載

FACE TO FACE

Dr. N. Furuyama

ドクター古山のルックスアップ講座

JCグループは6月と12月の年に2回、全体会議を開催している。今年は創設30周年のアニバーサリーイヤーを迎えたこともあり、6月11日(水)に六本木ヒルズクラブで開かれた上半期の全体会議と懇親会にはJCグループ従業員約150名が集結。例年以上の盛り上がりを見せた。今回はその会場に潜入し、ドクター古山が語ったビジョンについてレポートする!

JCグループ全体会議潜入編

全体会議は、自由が丘クリニック（以下JC）秋本院長の開催宣言でスタートした。「自由が丘クリニックは今年30周年を迎えました。古山理事長ともいつも話しているのですが、これからの10年を黄金期として築いていきたいです。そして10年後には、この会場に入りきらないほどのたくさんの仲間と一緒に40周年を迎えられたらと思っています」

続いて登壇したドクター古山による「JCグループ 今後のビジョンについて」は、「幸せ」「チームワーク」「クオリティ」というキーワードを軸に話が展開した。「最近よく考えるのですが、世の中には『幸せになれる人』と『幸せになれない人』の2種類しかいないと思います。幸せになるには、幸せを感じられる能力が必要です。幸せは他者から与えられるものではなく、自分で感じるもの。朝起きた時、『ああ、自分は何で幸せなんだろう』と感じられる人は、1日を幸せな気分で過ごすことができます。幸せを気づく感性が磨かれている人は、道端の花一輪を見ただけでも幸せを感じられるのです」

当日は早々たるメンバーが登壇。JC 中北信昭顧問長は全体会議の総括（締め）を担当

チームワークについての話は、田中角栄氏が口にしたといわれる『難のない馬はいない』という言葉の引用から始まった。「人間である以上、どんな人にも必ず欠点はあります。『美点凝視』という言葉通り、相手の欠点を指摘するのではなく、その人の長所を見ましょう。お互いの長所を認め合うことで、チームワークも成長していくと考えています。『働く』ことは『傍を楽にする』に通じます。自分の周囲の人が楽になれるかどうか、そういう視点をもって私たちも働いていきたいです」

これからはさらにクオリティが求められる時代になる、という言葉から3つ目のキーワードを説いた。「私は『神は細部に宿る』という言葉が大好きです。もうひとつ好きな言葉は『微差の集合体は大差』。患者様に対しても、取引きのあるサロン様に対しても、細かい部分に気を遣うことで、信頼感や安心感をおぼえてもらえます。日々の仕事の中で、今日の自分は昨日の自分に『鼻の差』で勝つ。という意識を持つことが大切ではないでしょうか。譲かとの比較ではなく、過去の自分に僅差で勝っていく。その積み重ねが将来、大きな結果となって実を結びます。それは個人の成長だけでなく、グループ全体の発展につながります。美容業界はレッドオーシャンの時代に突入し、勝ち残るものと、敗れ去るものの差が大きくなっています。勝ち残るのは、鼻の差の勝利を継続した側だという意識をぜひみなさんにも持っていただきたいと思います」

AIの進歩が続く時代、クリエイティブな仕事でさえ、人間の代わりに機械が進行するようになってきた。そんな激動期において大切なのは「定量化できないもの」である。ドクターは、『相』、『気』、『感』、『間』といった言葉を用いながらその大切さを説く。

「『相』は人相、面相、世相、家相など、相手に与える印象を左右する形のありようです。『気』は場の空気をよくすること。『感』や『間』は距離感とか、第六感、また間がいい・間が悪い、ということ。存在感、勝負勘、大局観を持ったチームは、勝負に勝つことができます。AIが発達した時代ほど、『あい・き・かん』の3つを持ったチームが勝つと思います」

最後に2025年の後半のビジョンを語った。この話を聞いて、あらためてJCグループの未来を見据えた改革のスピード感とクオリティの高さに気づかされた。「まず、現場について。各専門外来をさらに充実させていきます。デバイスと再生医療の強化にも取り組んでいきます。そしていよいよ本院の地下スペースがセミナールームになります。ここから新しい形のセミナー、新しい形の教育を提案していきたいと思います。おかげさまで『自由が丘倶楽部』も1万7000名を超えるメンバー様に登録していただいております。私は、今後の情報発信は従来のSNSとは違う形になっていくだろうと感じています。自分から『すごいでしょう』と発信するのではなく、客観的な視点で長所を発信していく方が訴求力があると考えます。ですので、今後は紙媒体などのメディアも大いに活用していきたいと考えています」。会場を埋めたJCグループの人たちの胸にも、ドクター古山の熱いメッセージが響いていたようだった。

六本木ヒルズクラブにJCグループ従業員約150名が集結。自由が丘クリニック本院の常勤・非常勤のドクター、ナース、広報チームのメンバーといったスタッフのほか、自由が丘クリニックソフィア、東京リライフクリニック、自由が丘クリニックドクターズコスメティクスのスタッフも集結。普段顔を合わせる機会が少ない仲間とも親交を深めた。右下の集合写真は、再生医療を担当する東京リライフクリニックのメンバーと、古山理事長・中北顧問長の記念ショット

「幸せ」「チームワーク」「クオリティ」が、美を追求する我々のキーワードです。

東京リライフクリニック最高顧問の高戸毅医師

東京リライフクリニック顧問長の石川正志医師

東京リライフクリニックCEO古山喜章氏からも厳密情報が届けられた

JCDC（自由が丘クリニックドクターズコスメティクス）上野幹也代表取締役（右）はJCDCの今後のビジョンと展望を語った。左はJCDCの営業戦略について発表する同・塚越俊雄営業本部長

JCの美容皮膚科治療をサポートしている東海大学医学部外科学系形成外科学教授・河野文部医師。河野氏を師と仰ぐJC古山恵理形成外科部長も登壇し挨拶

今年4月より新たにJCの常勤医として入職した坂田芳洋医師

全体会議の司会進行を務めたJC 共頭敦也副院長

懇親会の開会宣言およびソフィア院長就任の挨拶と乾杯を行った武田浩ソフィア院長

全体会議開催宣言（挨拶）を述べるJC 秋本峰宏院長

取材協力：自由が丘クリニック tel. 0800・303・0200 https://jiyugaokaclinic.com/